

教育長室からのお知らせ NO. 63(令和2年10月)



教育長 田中 庸寛

令和2年度折り返しの10月となりました。各園・学校においては、前期の学びを振り返り、適正に評価し、後期における子どもたちのさらなる成長に繋がるよう、取組を進めているところです。

さて、このたび平成元年に建てられた既存校舎の老朽化及び狭隘化を解消するために進めてまいりました国府台病院の院内学級建替工事が完了し、9月23日に供用開始となりました。新校舎は、鉄骨2階建てで1階は小学校2室、2階は中学校4室を配置し、家庭科室等の特別教室に加え、屋内運動場も完備しており、延床面積は旧校舎の約2.5倍に拡張いたしました。本学級は、昭和40年4月、千葉県における特別支援教育の発祥の地である市川市で国立国府台病院の院内学級（児童精神科入院児のための国内初）として誕生しました。創設以来、入院している児童・生徒の学力保障の場として「子どものあるところに常に教育は必要である」という信念のもと、医療と教育が手を結び続けてまいりました。今後も院内学級が大切な教育の場とあり続けられるよう努めてまいります。

また、コロナ禍で実施方法の変更を余儀なくされていた令和2年度の「新成人の集い」について、概要が決まりました。令和2年度の新成人の集いのテーマは、「繫絆（きずな）・飛躍・開華（かいか）」です。これは、令和2年度に成人を迎える若者たちによる成人式実行委員のメンバーによって提案され、決定したものです。今年度の対象者は4642人で、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、式典会場を設けない形で成人式を開催することといたしました。そのため、式典会場は設けないものの、成人式のために準備した振袖などの晴れ着やスーツを着て家族や友人と一緒に記念撮影のできるフォトスポットを市内の十数か所に設置します。具体的な開催内容の詳細については、11月下旬に、市公式Webサイトで周知する予定です。例年同様に教職員による新成人に向けたビデオレターも予定しています。

今は子どもたちの前期の学びに対する評価をまとめる時期です。教育委員会といたしましては、教職員と認識を共有し、引き続き教育現場の支援に努めてまいります。